

JASDAQ

証券コード：4970

URL <http://www.toyogosei.co.jp/>

株主の皆様へ

 **TOYO GOSEI**

第60期 中間報告書

(平成21年4月1日～平成21年9月30日)



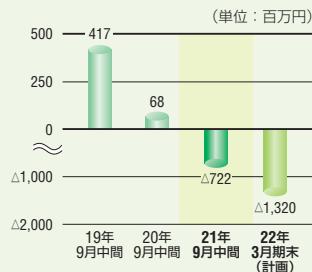
Financial Highlight

財務ハイライト

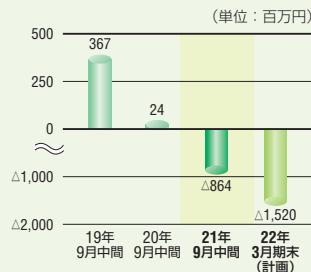
売上高



営業利益



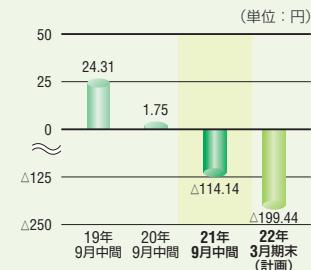
経常利益



四半期(当期)純利益



1株当たり四半期(当期)純利益



1株当たり配当金



総資産



純資産



※当社は、株式会社トランスパレント社を今後の有力な成長分野と見込み、平成22年3月期第1四半期より、同社を当社連結対象といたしました。なお、今期の当社業績に与える影響は軽微であります。

Message to Our Stakeholders

株主の皆様へ

■ ご挨拶

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

当社の第60期中間報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

昨年後半の米国金融危機以降、会社の全事業で売上の減少とともに、収支が悪化し、経常利益は赤字となりました。振り返ってみますと、本年2月には売上が危機以前の1/3近くまで減少いたしました。この2月を底として月を追って売上が回復し、8月、9月は金融危機以前の8割近くまで改善できました。当社では、本年初頭より支出の削減に取組み、60期より製造原価の削減に職場単位で取組んでおります。元より、現在の売上改善は日本のみならず、世界各国政府の需要喚起策によるもので、省エネルギー性に優れた電子器材の製作に使用される感光材は大きく恩恵を受けていると認識しております。

■ 当第2四半期の経営成績 (平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(単位：百万円)	当第2四半期実績
売上高	5,758
営業利益	△722
経常利益	△864
四半期純利益	△927

当社で最も大きい感光材事業の売上は回復してまいりましたが、液晶ディスプレイの製作に使用される感光材は円高による国際競争力の低下で、収支の改善が困難な状況であります。一方、集積回路の製作に使用される先端技術の感光材は、「Windows7」の発売に伴うパソコン販売増加により、引き合いが増加しております。今後も既存製品のコスト削減に努め、先端製品の販売増大に真剣に対処し、収支を改善したいと思っております。

一方、化成事業におきましては、溶剤回収精製は、国内化学産業の復活に伴い、需要が回復し始めております。また、香料材料では、前期より稼働した新規装置の運転の改善が進んだことで、収率が向上し、生産量が増加しております。この状況の改善に併せ、販売促進に一層努め、売上の増加を計り、感光材の不振をカバーしたいと存じております。

液体化学品保管業務は、石油化学品の在庫の増加で、現在は全タンクの契約を引続き継続させていただいております。

以上の経営改善で、今期の見通しは当初の見込みより赤字幅は減少したものの、依然として厳しい経営状況であります。

■ (参考)通期個別業績予想 (平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(単位：百万円)	通期個別業績予想 (平成21年8月12日修正)	期首計画 (平成21年5月12日発表)	改善額
売上高	11,800	11,600	200
営業利益	△1,300	△1,600	300
経常利益	△1,500	△1,800	300
当期純利益	△1,600	△1,900	300

■ 通期連結業績予想 (平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(単位：百万円)	通期連結業績予想 (平成21年8月12日発表)
売上高	11,800
営業利益	△1,320
経常利益	△1,520
当期純利益	△1,620

今後一層のコスト削減に努め、来期の黒字達成に向け社員一同一致協力いたす所存であります。何卒、株主の皆様には引続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

平成21年12月



代表取締役社長

木村正輝

Segmental Information

●感光材事業●

液晶テレビや半導体の製造を支えています



感光材は、液晶テレビや半導体の製造工程で使用される回路パターンを形成する材料であるフォトレジストの原材料になります（フォトレジストは、感光材と溶剤等から作られます）。

当社の感光材は高性能かつ高品質の製品として高い評価をいただいております、世界トップクラスのメーカーとして高いシェアを有しています。また、大学と共同で次世代型の感光材の研究開発にも積極的に取り組んでいます。

所在地：千葉工場（千葉県香取郡東庄町）

●香料材料事業●

世界に広がる香りをつくる



食品（フレーバー）や化粧品（フレグランス）製品の単品香料を作っているのが、香料材料事業部です。食品や化粧品の香りは、何十種類もの単品香料を香料会社で調合し、1つの香りが作られます。当社ではその香りの素となる単品香料を世界各国の

大手香料会社に販売しています。当社の単品香料は、香料として一番重要な“匂い”の安定を特徴としており、国内では食品香料向けが多く、海外では化粧品香料向けに多く販売しています。

所在地：市川工場（千葉県市川市上妙典）

●エネルギー事業●

燃費の向上やCO₂削減に寄与する未来の液体



近年、各自動車メーカーでは、ハイブリッド自動車や燃料電池車にエネルギーの有効利用を目的とした電気二重層キャパシタを搭載することが検討されています。当社では、この電気二重層キャパシタ用の電解液及びイオン液体の製造販売を行っています。

イオン液体の使用は多くの分野で研究されており、環境負荷の少ないグリーンケミストリー用反応溶媒や安全で高性能な次世代電解質としての活用が望まれています。また、フォトレジスト用現像液TMAHの製造販売も行っています。

所在地：千葉工場（千葉県香取郡東庄町）

●グリーンケミカル事業●

地球温暖化、大気・水質汚染問題解決に貢献



塗料、電子・電気部品、自動車、製薬、化学等広範な分野では多様な有機溶剤が使われています。こうした廃溶剤の多くは再利用されことなく大気に放出もしくは、燃焼処理されてきました。当社はユーザーで使用された廃溶剤を引き取り、再利用できるように精製を行い、新品同様に蘇らせます。

当社では特に高度な蒸留技術が求められる半導体などの電子部品材料用溶剤のリサイクルで高い実績を誇っています。

所在地：市川工場（千葉県市川市上妙典）

各事業部門のご紹介

●ロジスティック事業●

月間200隻の船舶と3,000台のローリーに対応



高浜油槽所において、大手石油化学メーカーや商社の液体化学品を船で受け入れ、一時保管し、タンクローリーで関東各地のユーザー様へ配送を行っています。

受け入れ船舶は月間200隻、ローリーでは3,000台の出荷に対応できます。また、化学メーカーとして長年培ってきた化学物の取り扱い、管理、分析の技術と最新の設備により、安全かつ環境にも配慮した万全の体制を備えています。
所在地：高浜油槽所（千葉県市川市高浜町）

●新規事業開発●

ナノテク分野、バイオ分野の研究開発



ナノテク分野では、UV ナノインプリント専用の樹脂を世界で初めて発売しました。ナノインプリントは、他の微細加工技術では困難な大面積加工が可能のため、

次世代型加工技術として注目されています。

バイオ分野では、新薬開発における前臨床試験を支援する製品「Cell-able（セルエイブル）」のプレートを製造しています。製薬メーカーは、Cell-able使用による研究開発費の削減、開発期間の短縮に期待を寄せています。

所在地：感光材研究所（千葉県印旛郡印旛村）

連結決算の開始について

当社は、株式会社トランスパレントを今後の有力な成長分野として見込み、平成19年11月に同社の株式を取得（子会社化）いたしました。現在、同社はマーケティング活動を本格化させております。今後、商業化に向け、当社における重要性が増す見込みであるため、今期より同社を当社連結対象といたしました。なお、今期の当社業績に与える影響は軽微であります。

トランスパレントHP
<http://www.transparent.co.jp/>



アンケートハガキへのご協力をお願い

昨年度の第59期は赤字決算となり、株主の皆様のご期待に沿うことができず大変遺憾に思っております。今期上半期の状況としましては、景気の回復と共に当社の経営状況も改善が進み、今後成長路線に転換するために様々な施策を実施しております。

今後の経営施策検討にあたり、株主の皆様からも当社経営へのご要望、ご提案をいただきたいと考えております。お手数とは存じますが、同封のアンケートへのご協力をよろしくお願いいたします。ご協力いただいた方のうち抽選で100名様にQUOカード1,000円分を2月中旬頃送付させていただきます。

- ※平成22年1月29日(金)当社着にて締め切らせていただきます。
- ※当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。
- ※回答欄の下部に必ず株主番号及びお名前をご記入願います。
- ※アンケートご記入後、同封のプライバシー保護シールを貼って投函してください。
- ※個人情報保護に配慮し、ご記入いただいた個人情報は当社のIR活動以外に活用することはございません。

Financial Statements

財務諸表（要旨）

■ 貸借対照表（連結）

（千円未満切捨表示）

科 目	当第2四半期末 平成21年9月30日現在
資産の部	
流動資産	8,324,212
固定資産	16,230,800
資産合計	24,555,013
負債の部	
流動負債	11,064,430
固定負債	7,178,485
負債合計	18,242,916
純資産の部	
株主資本	
資本金	1,618,888
資本剰余金	1,541,589
利益剰余金	3,154,388
自己株式	△ 12,578
評価換算差額等	
その他有価証券評価差額金	7,681
少数株主持分	2,128
純資産合計	6,312,096
負債純資産合計	24,555,013

※平成22年3月期第1四半期より連結財務諸表を作成しておりますので、対前年第2四半期につきましては記載しておりません。

■ 損益計算書（連結）

（千円未満切捨表示）

科 目	当第2四半期累計期間 自 平成21年4月 1 日 至 平成21年9月30日
売上高	5,758,576
売上原価	5,534,552
売上総利益	224,024
販売費及び一般管理費	946,697
営業損失（△）	△ 722,672
営業外収益	78,880
営業外費用	220,832
経常損失（△）	△ 864,624
特別損失	60,726
税金等調整前四半期純損失（△）	△ 925,351
法人税等	2,401
少数株主損失（△）	△ 592
四半期純損失（△）	△ 927,159

■ キャッシュ・フロー計算書（連結）

（千円未満切捨表示）

科 目	当第2四半期累計期間 自 平成21年4月 1 日 至 平成21年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,112,315
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,018,351
財務活動によるキャッシュ・フロー	244,637
現金及び現金同等物の四半期末残高	878,615

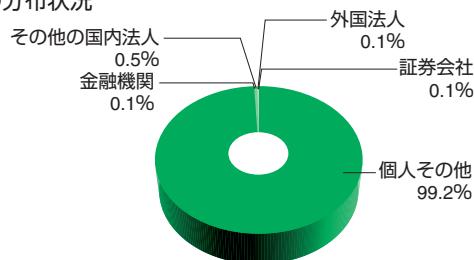
Stock Information

株式の状況 (平成21年9月30日現在)

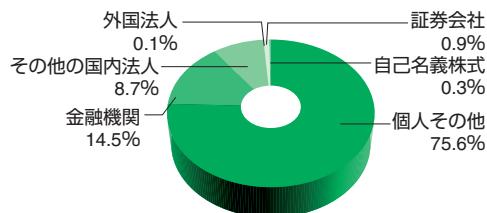
■ 発行可能株式総数	30,000,000株
■ 発行済株式総数	8,143,390株
■ 株主数	12,626名
■ 大株主	

株主名	持株数(株)	議決権比率(%)
木村正輝	1,637,270	20.1
木村有仁	394,800	4.8
木村愛理	383,000	4.7
千葉銀行	298,100	3.7
東京都民銀行	298,000	3.7
木村源四郎	210,100	2.6
片岡文子	207,500	2.5
早稲田大学	200,000	2.5
昭和エンジニアリング	170,000	2.1
東洋合成工業社員持株会	146,920	1.8

■ 株主の分布状況



■ 株式の分布状況



Corporate Profile

会社の概要 (平成21年9月30日現在)

■ 商号	東洋合成工業株式会社
■ 本社	千葉県市川市上妙典1603番地
■ 設立	昭和29年9月27日
■ 資本金	1,618,888,703円
■ 従業員数	388名
■ 事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 有機工業薬品・有機溶剤等の製造並びに販売 2. 画像形成用の感光性材料等の製造並びに販売 3. 電子表示機器の材料等の開発、製造並びに販売 4. 電池材料並びに電気二重層材料等の研究開発、製造並びに販売 5. 酵素蛋白、細胞を特定形状化するための感光性樹脂の研究開発、応用品の製造並びに販売 6. 化学機械・装置（反应用機器、蒸留塔、抽出器、濾過器、乾燥機等）の設計、製作並びに設置工事 7. 倉庫業 8. 貨物運送取扱業
■ 事業所	東京営業所 東京都中央区八丁堀4丁目13番1号 高浜油槽所 千葉県市川市高浜町7番地 感光材研究所 千葉県印旛郡印旛村若萩4丁目2番1号 市川工場 千葉県市川市上妙典1603番地 千葉工場 千葉県香取郡東庄町宮野台1番51号
■ 関係会社	株式会社トランスパレント TG Finetech Inc.

■ 役員

代表取締役社長	木村正輝
専務取締役	川村繁夫
常務取締役	木村有仁
取締役執行役員	菊地英夫
	渡辺宏一
執行役員	小島邦彦
	萩原勇一
	佐藤健太郎
	多田雅人
三代川	伊藤雅人
監査役	萩原正一
	宇田川進
	鳥井勉

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月下旬
剰余金の配当の基準日	3月31日 中間配当を実施するときは9月30日
定時株主総会基準日	毎年3月31日 ※その他必要がある場合は、予め公告いたします。
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により行います。 公告掲載URL http://www.toyogosei.co.jp/ir/koukoku.html ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載する方法により行います。
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先	お取引の証券会社になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先		0120-288-324 (フリーダイヤル)
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインバスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店
ご注意	未払配当金の支払、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。 電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡ください。



当社ホームページでは、事業内容のご紹介、IR情報、環境活動など様々な情報を掲載しております。是非ご覧ください。

<http://www.toyogosei.co.jp/>

東洋合成工業株式会社

〒272-0012 千葉県市川市上妙典1603番地
TEL047-327-8080 FAX047-327-8055
E-mail : ir@toyogosei.co.jp

